

令和元年度 学校評価について

(生野中) 学校

4:よくできた 3:できた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

	評価の観点	回答者数(%表示)				今後の改善について	自己評価の妥当性(学校関係者評価の意見等)
		4	3	2	1		
学校運営	開かれた学校づくり	家庭や地域の人々への情報発信	46%	43%	9%	2%	<p><開かれた学校について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育講演会の参加者が少ないとのこと。これは、内容に問題があったのかもしれない。人を集めるとなると、人が集まる内容のものであるかどうかを十分考えなければならない。ただ、目を変えれば良いだけではない。 <p><生徒指導について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・飴と鞭が必要である。あまりなれなれしくすることは良いことではない。怖い先生がいても良いのではない。 ・不登校の生徒が好転していることは良いことだ。先生達の努力がよく理解できる。 <p><危機管理について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、どんな災害が発生するか想像もつかない時代である。いろいろなことを想定しながら、子どもたちの安全について対応策を考えてほしい。 <p><道徳教育について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・心の成長を評価することは難しい。十分研修をしてほしい。 <p><あさごドリームアップ事業について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもにいろいろな体験をさせることは大きな成長につながる。ふるさと愛にもつながっていく。人口が減少する中、このふるさとで活躍する生徒を育成してほしい。 ・生野には、たくさん素晴らしいところがある。そんな魅力を再発見し、引き継いでいってほしい。
		オープンスクール(学校公開)など住民参加の教育活動の推進					
	生徒指導	豊かな集団生活が営まれる学級づくり	25%	59%	11%	5%	
		児童生徒の内面理解を図る指導の工夫					
		いじめ、不登校、問題行動、ネットトラブル等への適切な対応					
進路指導(中)	進路選択能力の育成	42%	50%	8%	0%		
危機管理体制の整備	マニュアルの点検・見直し	42%	46%	12%	0%		
	地域課題に応じた防災、防犯教育の実施						
教育課程	自ら学び自ら考える力の育成	指導内容の工夫改善	20%	68%	11%	2%	
	基礎・基本の定着と個に応じた学習指導の充実	指導内容・指導方法の工夫改善、評価方法の創意工夫	0%	82%	18%	0%	
	道徳教育	授業研究の充実と指導の工夫	55%	45%	0%	0%	
	外国語教育(小)	授業研究の充実と指導の工夫	*	*	*	*	
	総合的な学習の時間	全体計画に基づく工夫改善	17%	83%	0%	0%	
課題教育	人権教育	人権尊重の精神の育成	8%	75%	17%	0%	
	体験活動の充実	自然学校、トライヤル・ウィーク等を含めた体験活動の充実	69%	31%	0%	0%	
	キャリア教育	社会的自立に必要な態度や能力の育成	42%	50%	8%	0%	
特別支援教育	校内の指導体制、個に応じた指導	54%	38%	8%	0%		
あさごドリームアップ事業	特色ある学校づくり	55%	42%	3%	0%		
その他	・携帯電話やスマホなどのSNSの使用ルールなど、情報モラル教育	28%	41%	24%	7%	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSの問題は大きな問題である。多くの危険性を含んでいる。真剣に考えるべき時期である。 	

* 学校関係者評価の意見は文章表現でお願いします。